



# アボ門連の人才培养に注力

に三菱電機で1年間、  
社員を学ばせていただ  
いた。同社でも例がな  
い試みで、当社の思い  
を伝えさせていただい  
て実現しました。実現  
するまでには何度も東  
京に足を運びました。  
技術の習得だけなら1  
年かけることはなかつ

森脇 社長

としてロボットの全体像を把握するための研修を受けた。この3年間は1人目が1年、2人目が6ヶ月、3人目が3ヶ月と三者三様のそれぞれの役割に応じた研修を受講した。1人目の研修が修了して本社に戻ってきたタイ

監督署から事故発生時にロボットの教育を受けていたかが問われるところから、ロボット安全教育の資格を4人が取得した。社内の研修はもちろん外部に対しても研修に応じる。

—社内研修はどのように取り組んでいま

ており、受講者は60人ないし70人くらいいる。5人前後のチームで毎月1回研修を実施している。教育には投資が必要と言います  
が、九州や大阪から店舗に集まつてくるので年間1000万円近い交通費がかかります。

格取得ありきではなく、資格取得のために勉強することに意味があり、基礎知識を身に付けてもらうことが最大の目的。教育投資に対する基本です。

うる投資、情報収集の  
投資には特に力を入れ  
きました。当社はロ  
ットSIヤーの育成

森脇社長 その後、  
2人目は経験者なので  
技術研修として、さら  
に3人目は上司の立場  
で社長に取り

――次の施策として  
ロボット安全教育があ  
ります。

人材の育成に注力してきた制御商社・三光電業（広島市西区）の森脇喜美代社長に人材の育成に対する思いと取り組みを聞いた。

◇ ◇

—ロボット関連の技術者育成に力を注いでいますね。

たかもりません。口ボツトの売り方だつたり、提案する中身とそれに伴つた組み立てやソフトなど総合的なノウハウを学ぶ必要があつた。三菱電機の社員と同じ立ち位置で学ばせていただいた。

——その後も研修に

はさまざまに活用が行われています。

森脇社長 コロナ禍でロボットパークの活動にも制限がかかった。昨年のロボット販売台数は25台。今年に入り、3カ月で50台売れました。コロナ禍前に取り組んでいた案件が

三菱電機で研修、資格取得にも積極投資

ており、受講者は60人ないし70人くらいいる。5人前後のチームで毎月1回研修を実施している。教育には投資が必要と言いますが、九州や大阪から店舗に集まつてくるので年間1000万円近い交通費がかかります。

格取得ありきではなく、資格取得のために勉強することに意味があり、基礎知識を身に付けてもらうことが最大の目的。教育投資に対する基本です。



### 展示会の三光電業ブース